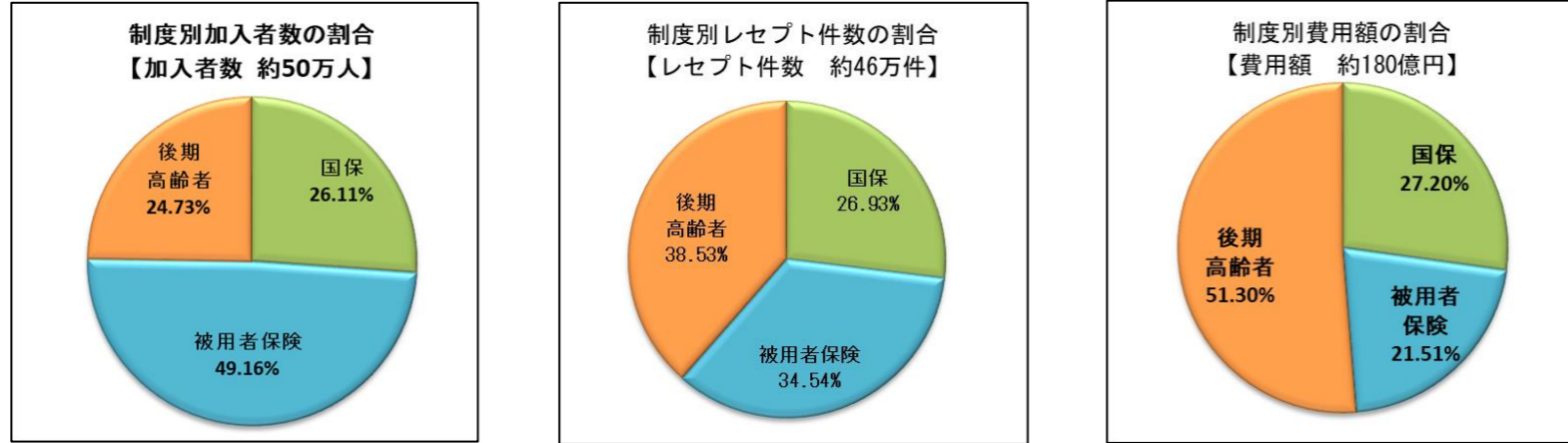


令和3年度 島根県保険者協議会医療費等分析状況【医療費分析】〈概要版〉

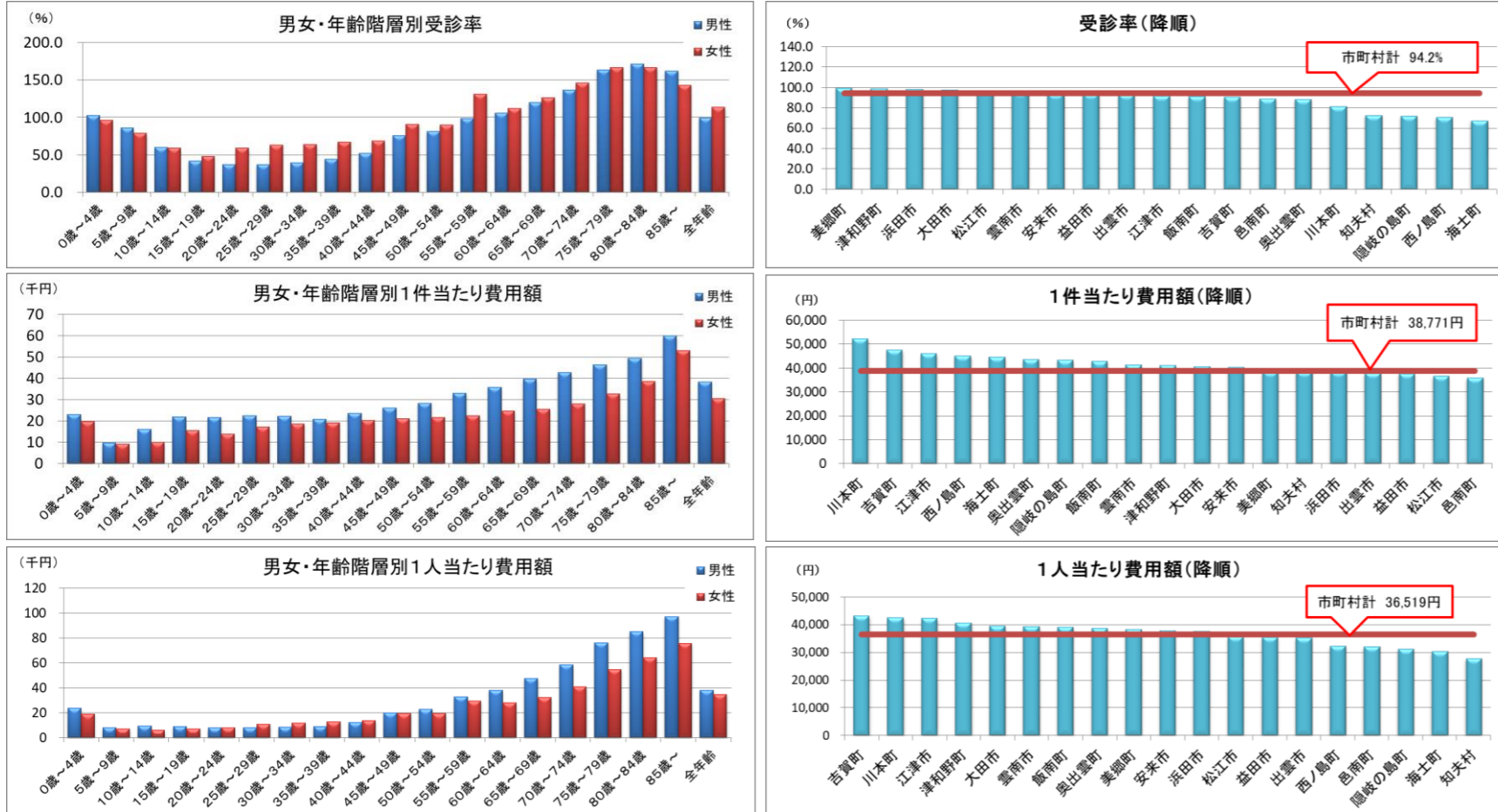
県内19市町村国民健康保険、島根県医師国保組合、全国健康保険協会島根支部、島根県市町村職員共済組合、後期高齢者医療広域連合の令和3年5月診療分レセプトデータを分析しました。

1. 加入者数、レセプト件数、費用額



約50万人のデータを分析対象としました。これは島根県の人口の約75%を占めます。レセプト件数は約46万件。後期高齢者が最も高い割合を占めています。費用額の合計は約180億円。後期高齢者が最も高い割合を占め、レセプト件数に占める割合を大きく上回っています。

2. 医療費諸率



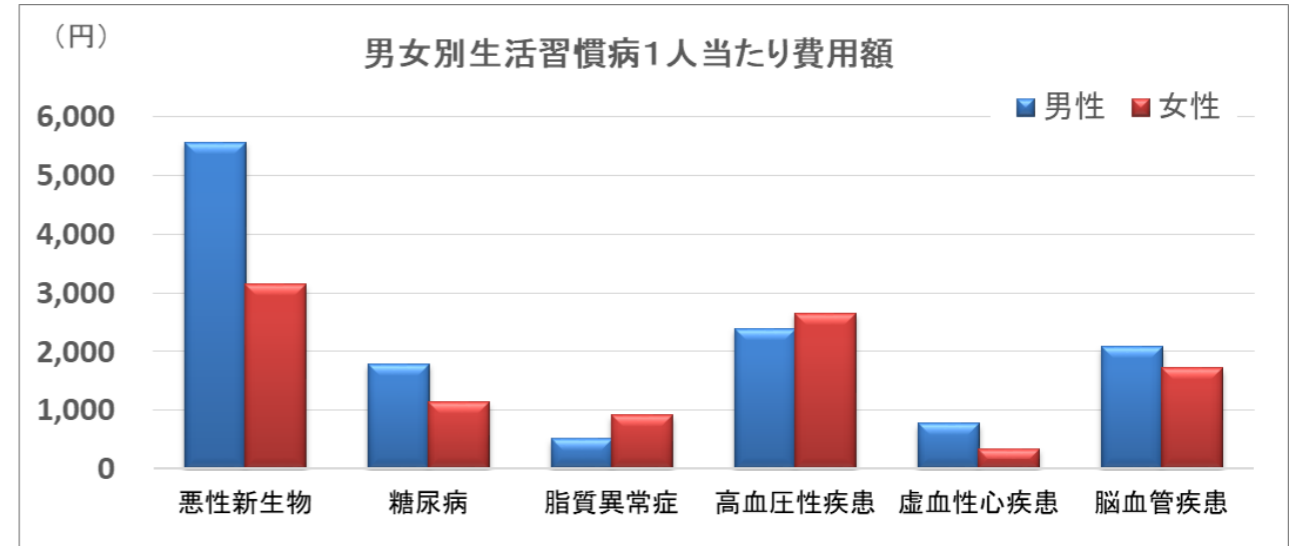
男女別受診率は、10歳～79歳の広い年齢階層で女性が高くなっています。一方で、1件当たり・1人当たり費用額は男性が高い傾向にあります。市町村別の状況では、受診率は美郷町、1件当たり費用額は川本町、1人当たり費用額は吉賀町が最も高い状況です。

3. 疾病別1人当たり費用額の状況(中分類上位10疾病)

| | 1位 | 2位 | 3位 | 4位 | 5位 | 6位 | 7位 | 8位 | 9位 | 10位 |
|------------|-------------|-------------|-------------|-----------|-----|-------------|---------------|-----------|---------------------|-------------------|
| 男女合計(制度合計) | 高血圧性疾患 | 他の悪性新生物<腫瘍> | 歯科 | 骨折 | 腎不全 | 他の心疾患 | 糖尿病 | 脳梗塞 | 他の消化器系の疾患 | 統合失調症・妄想性障害 |
| 男性 | 他の悪性新生物<腫瘍> | 高血圧性疾患 | 腎不全 | 糖尿病 | 歯科 | 他の心疾患 | 脳梗塞 | 他の消化器系の疾患 | 統合失調症・妄想性障害 | 骨折 |
| 女性 | 高血圧性疾患 | 骨折 | 歯科 | 他の心疾患 | 糖尿病 | 腎不全 | 他の悪性新生物<腫瘍> | 脳梗塞 | 統合失調症・妄想性障害 | 他の消化器系の疾患 |
| 国保 | 他の悪性新生物<腫瘍> | 統合失調症・妄想性障害 | 高血圧性疾患 | 腎不全 | 歯科 | 糖尿病 | 他の心疾患 | 他の神経系の疾患 | 気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍> | 他の消化器系の疾患 |
| 被用者保険 | 歯科 | 高血圧性疾患 | 他の悪性新生物<腫瘍> | 他の消化器系の疾患 | 糖尿病 | 腎不全 | 良性及び他の新生物<腫瘍> | 他の心疾患 | 他の神経系の疾患 | 気分[感情]障害(躁うつ病を含む) |
| 後期高齢者 | 高血圧性疾患 | 骨折 | 他の心疾患 | 腎不全 | 脳梗塞 | 他の悪性新生物<腫瘍> | 糖尿病 | 他の消化器系の疾患 | アルツハイマー病 | 他の呼吸器系の疾患 |

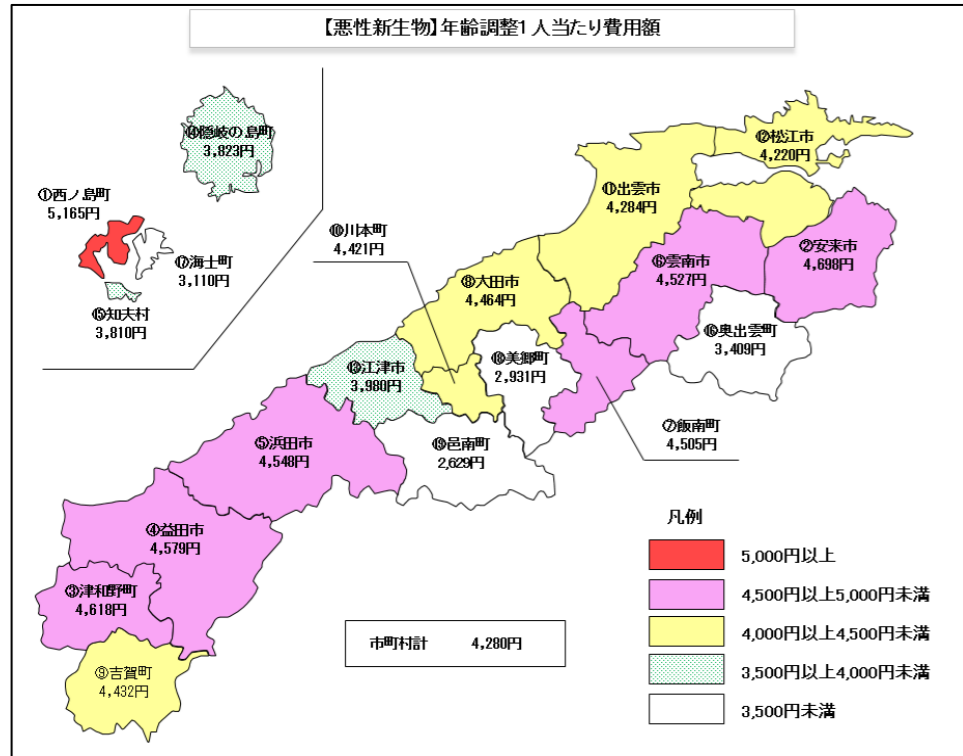
男女合計で「高血圧性疾患」が1位となっています。制度別にみると、国保は「他の悪性新生物<腫瘍>」、被用者保険は「歯科」、後期高齢者は「高血圧性疾患」が1位となっています。

4. 生活習慣病1人当たり費用額の状況

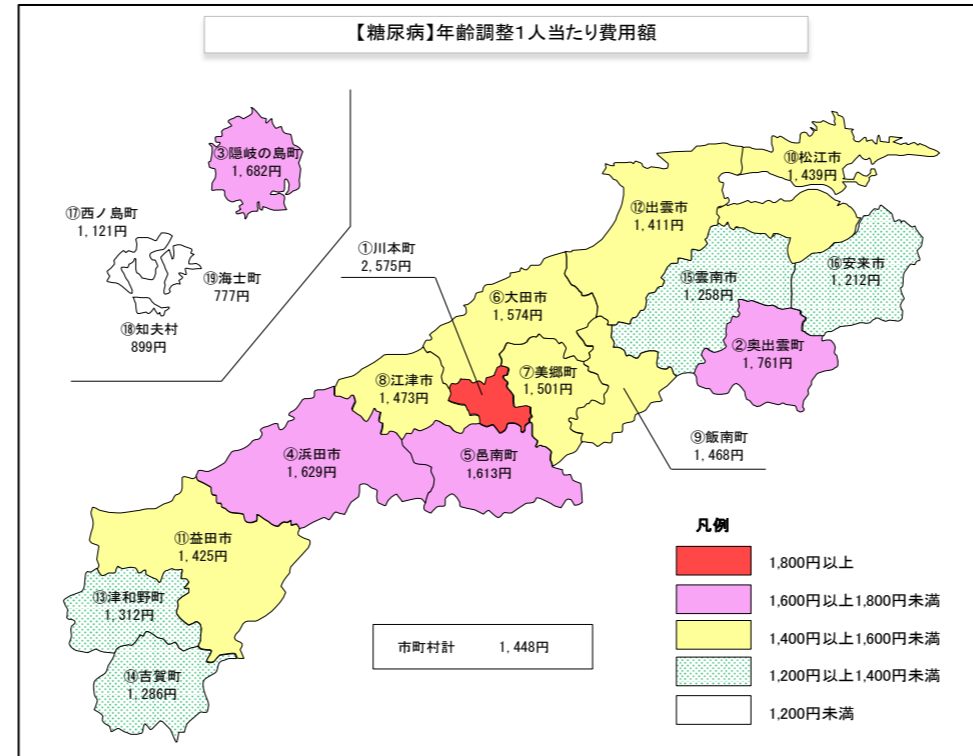


生活習慣病の1人当たり費用額を男女別に比較すると「脂質異常症」及び「高血圧性疾患」は女性が高く、その他の疾患は男性が高くなっています。

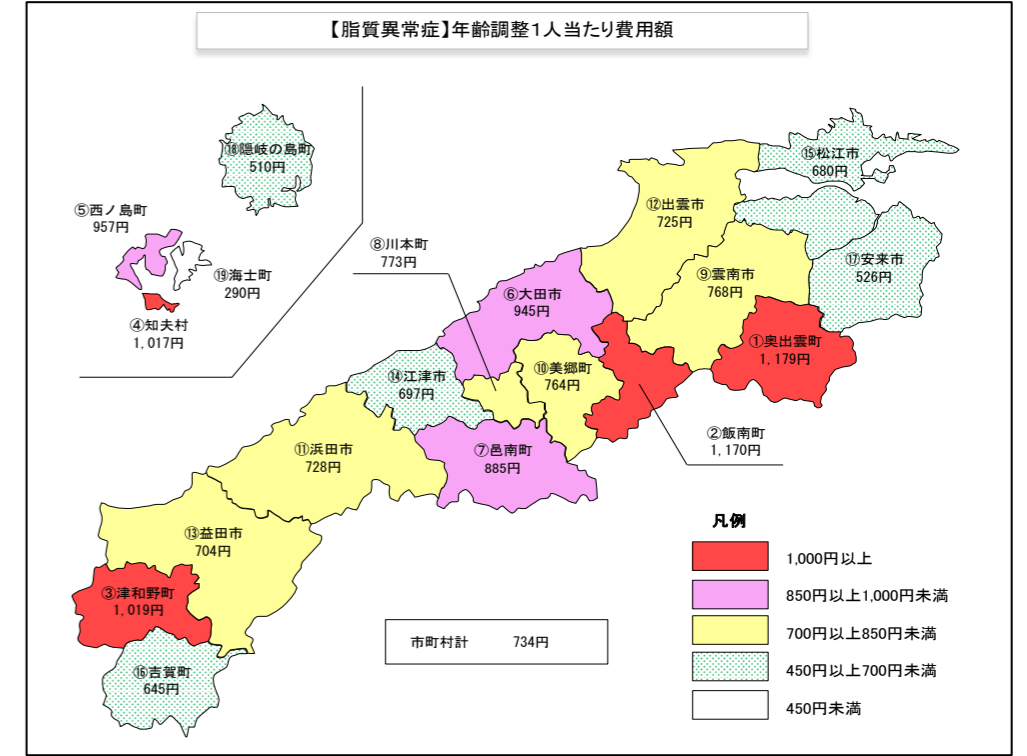
5. 生活習慣病 年齢調整1人当たり費用額



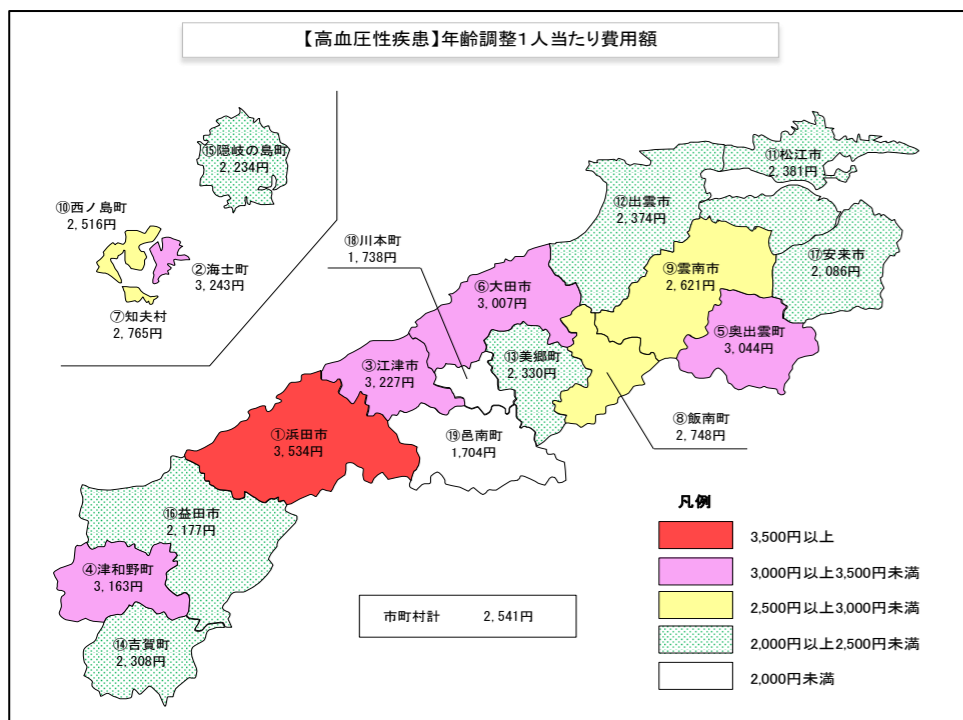
悪性新生物の1人当たり費用額が最も高いのは**西ノ島町**で、最も低いのは**邑南町**です。



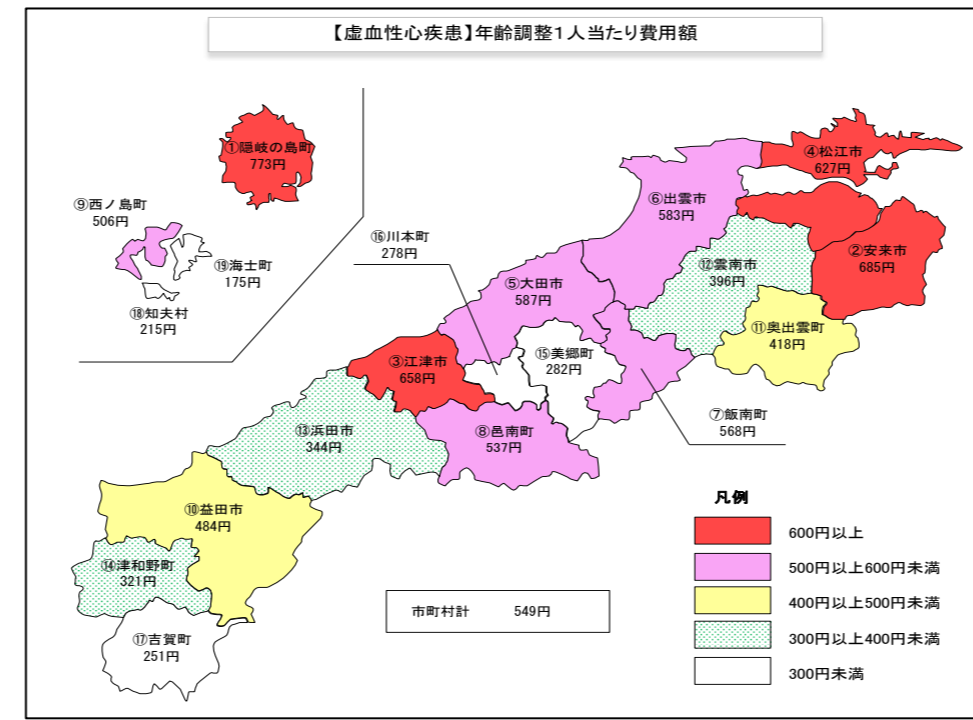
糖尿病の1人当たり費用額が最も高いのは**川本町**で、最も低いのは**海士町**です。



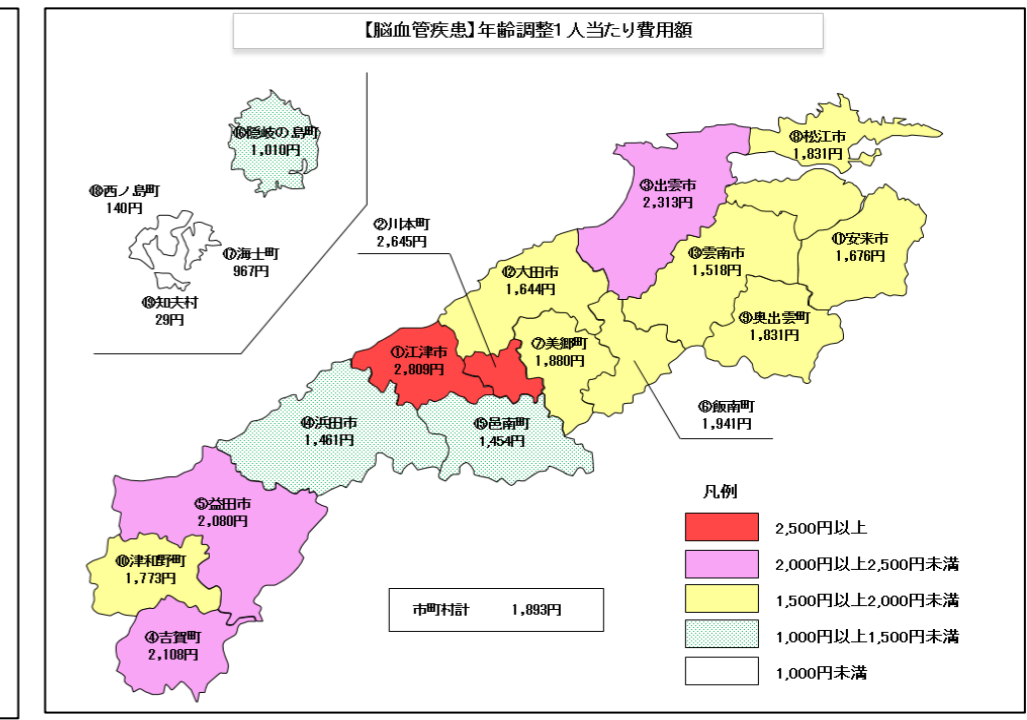
脂質異常症の1人当たり費用額が最も高いのは**奥出雲町**で、最も低いのは**海士町**です。



高血圧性疾患の1人当たり費用額が最も高いのは**浜田市**で、最も低いのは**邑南町**です。



虚血性心疾患の1人当たり費用額が最も高いのは**隠岐の島町**で、最も低いのは**海士町**です。

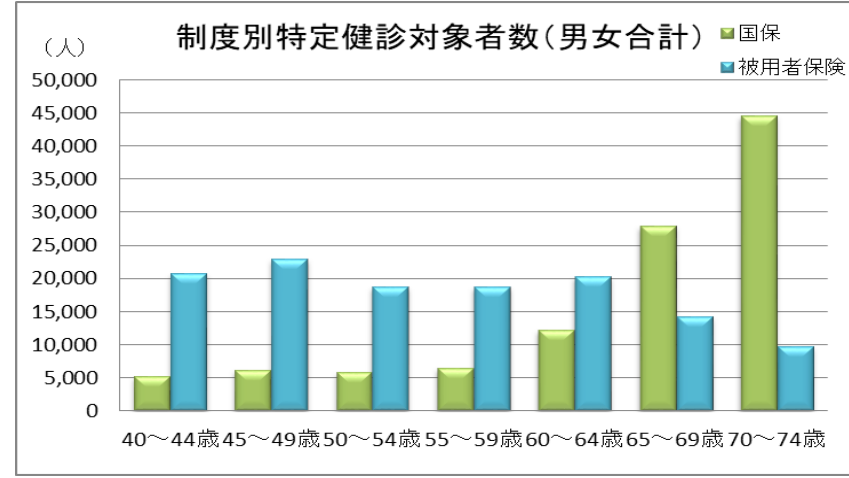
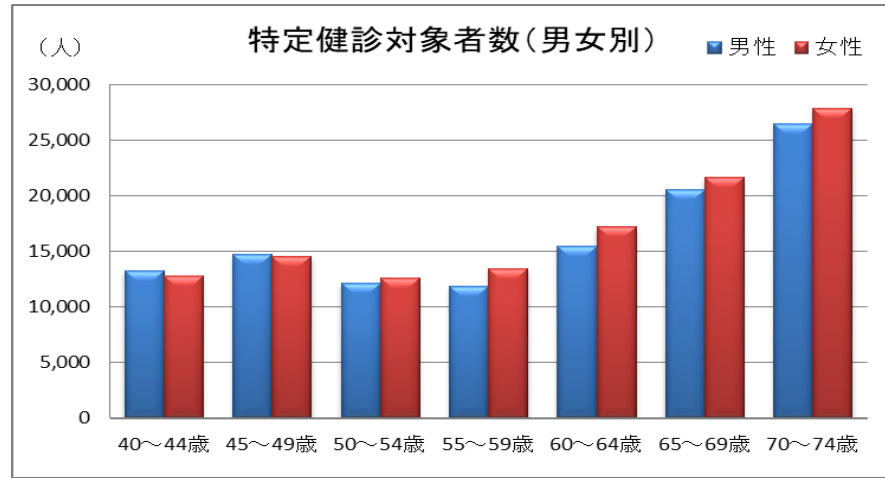


脳血管疾患の1人当たり費用額が最も高いのは**江津市**で、最も低いのは**知夫村**です。

令和3年度 島根県保険者協議会医療費等分析状況【特定健診結果分析】

県内19市町村国民健康保険、島根県医師国民健康保組合、全国健康保険協会島根支部、島根県市町村職員共済組合の令和2年度特定健康診査結果データを分析しました。分析に有効なデータすべてを対象としているため法定報告値とは異なります。

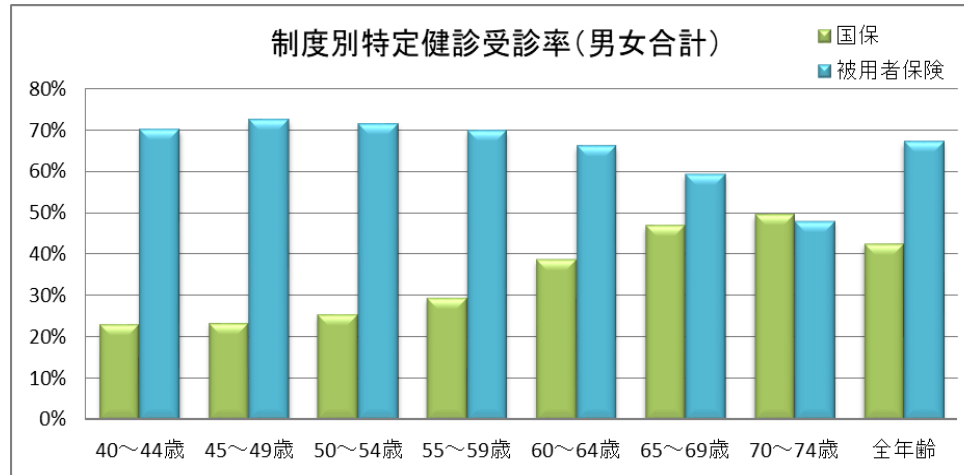
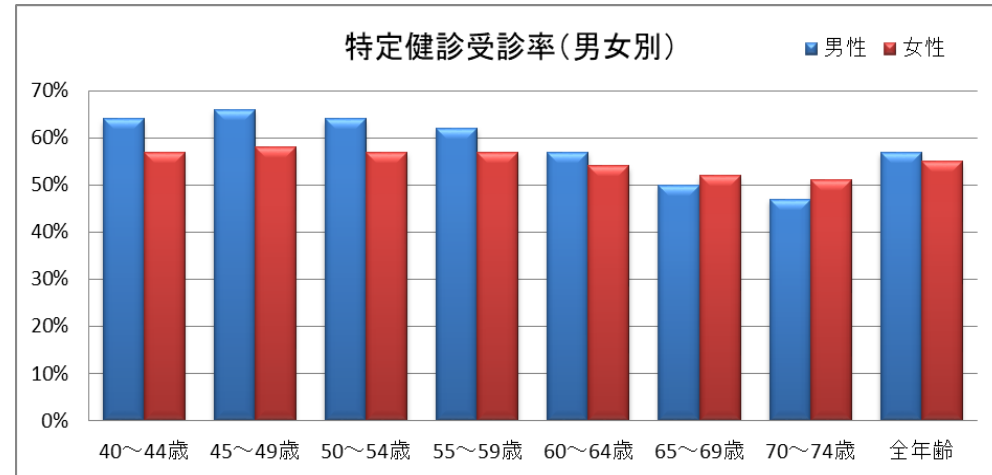
1. 特定健診対象者数等



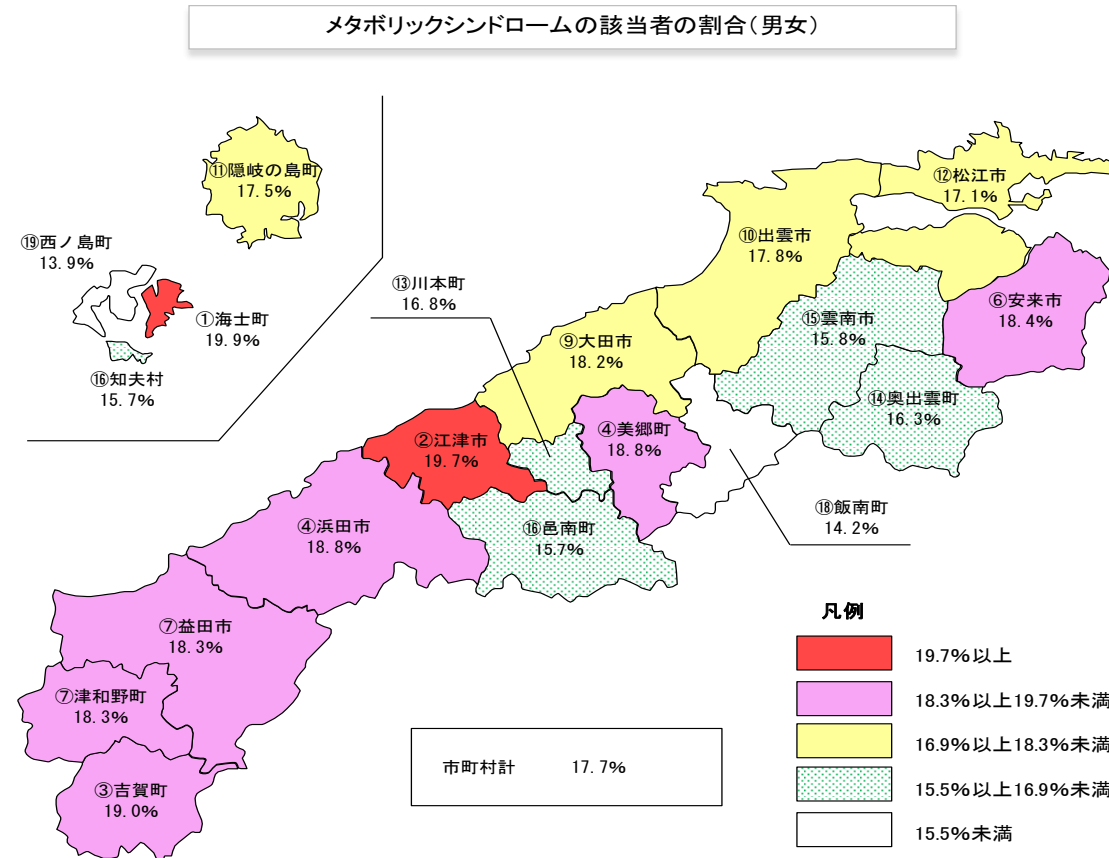
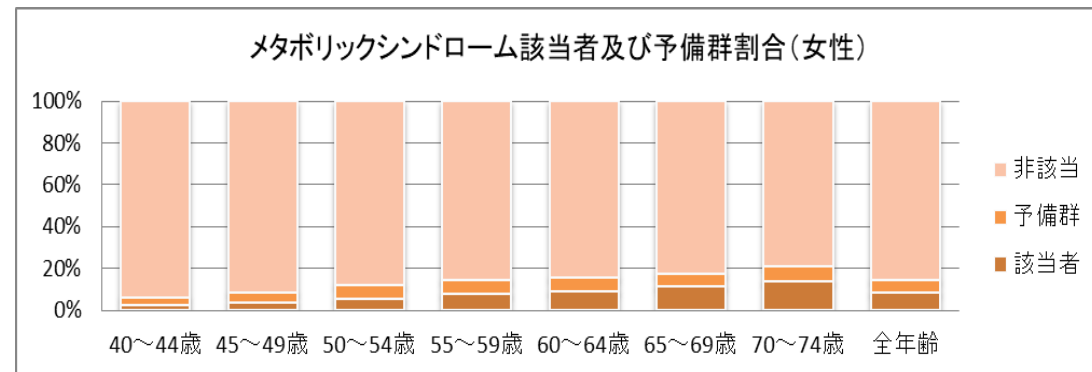
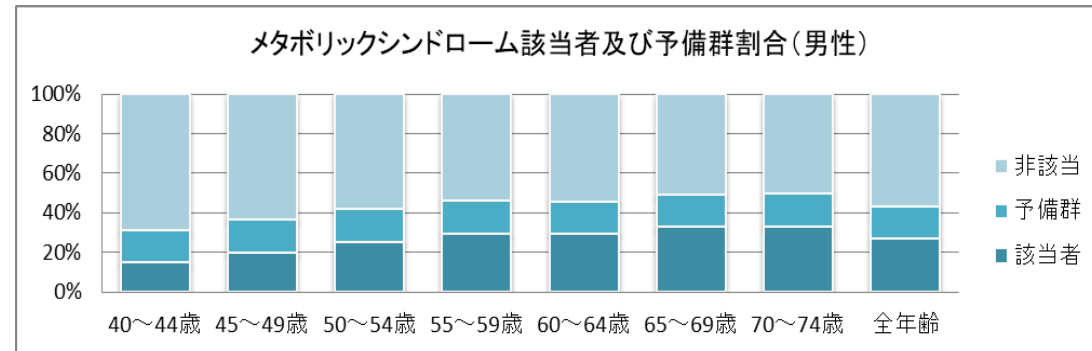
令和2年度は、**234,413人**の特定健診対象者のうち、**130,373人**が特定健診を受診しています。県全体の受診率は**55.6%**です。

<制度別受診率>
 *国保 42.3%
 *被用者保険 67.1%

(令和元年度受診率)
 県全体 57.3%
 *国保 43.8%
 *被用者保険 68.9%



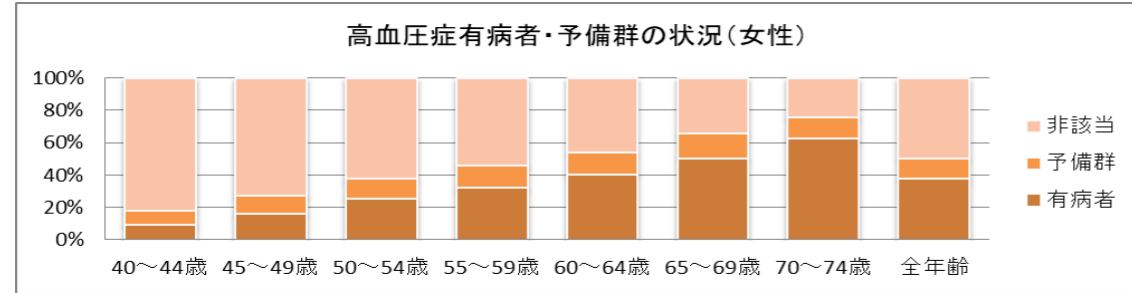
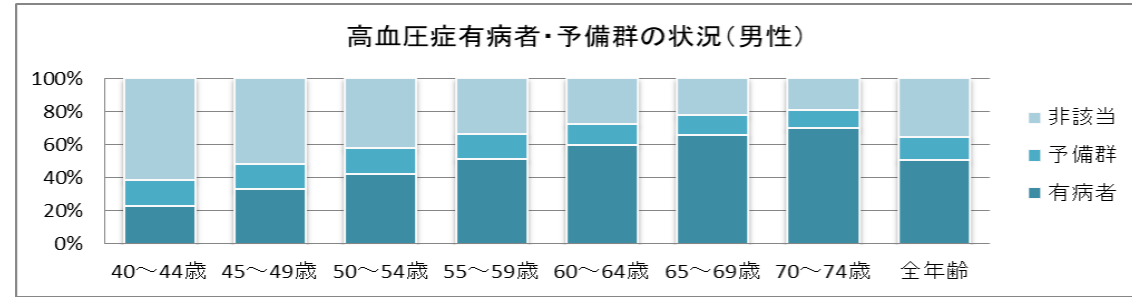
2. メタボリックシンドローム該当者・予備群の状況



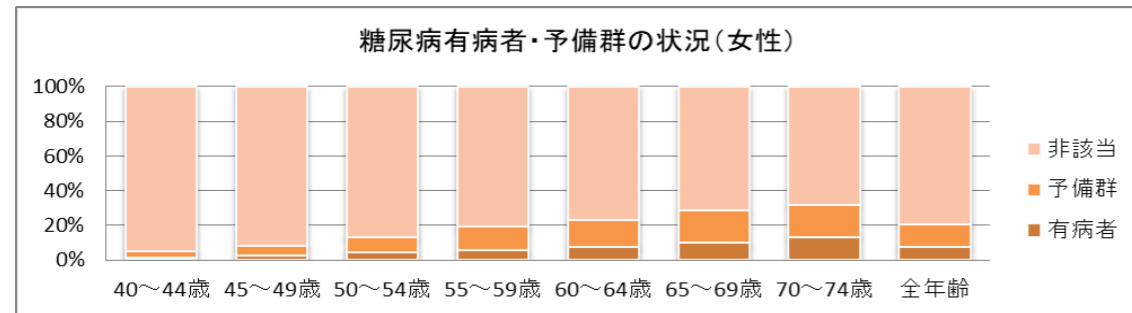
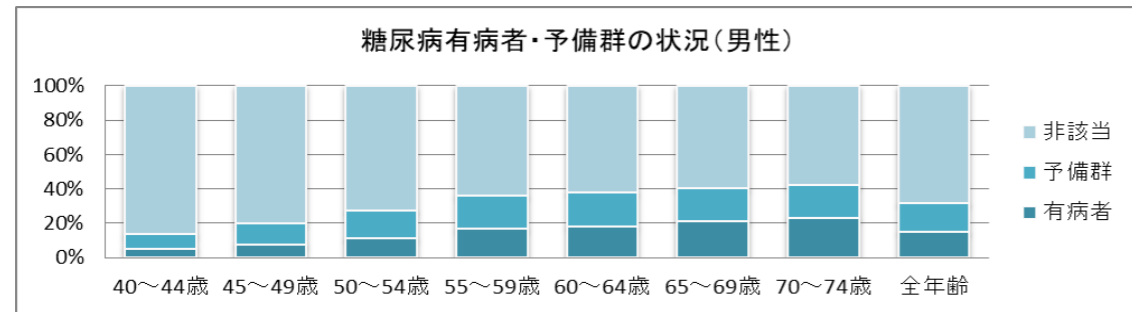
男女とも、加齢とともに該当者・予備群の割合は増加しています。全ての年齢層で**男性**の割合が女性と比べて高い状況です。

市町村別該当者の割合が最も高いのは**海士町**で、最も低いのは**西ノ島町**です。

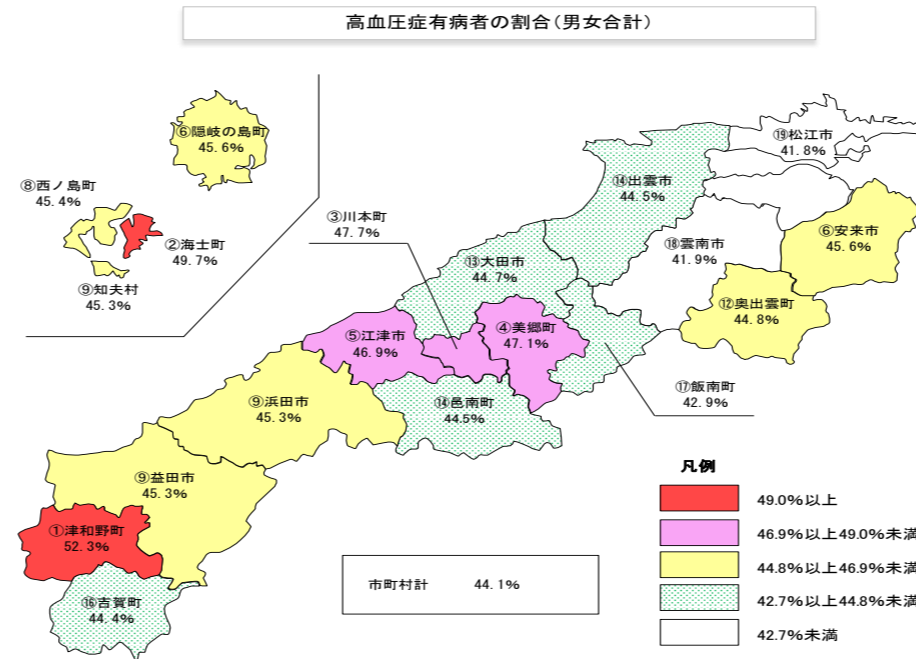
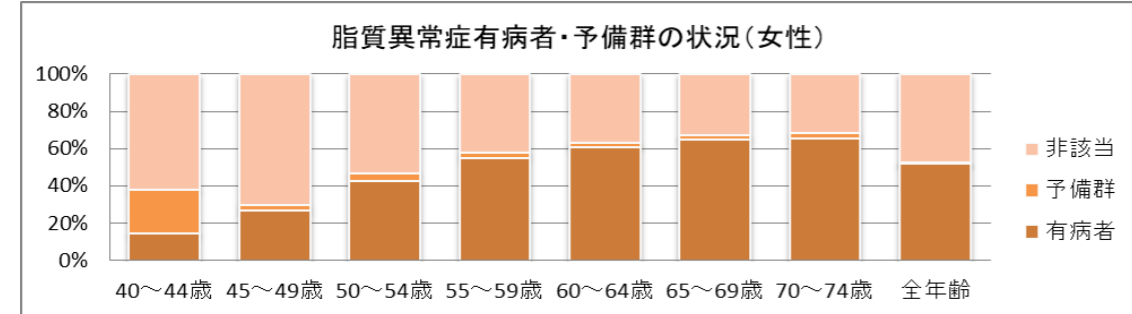
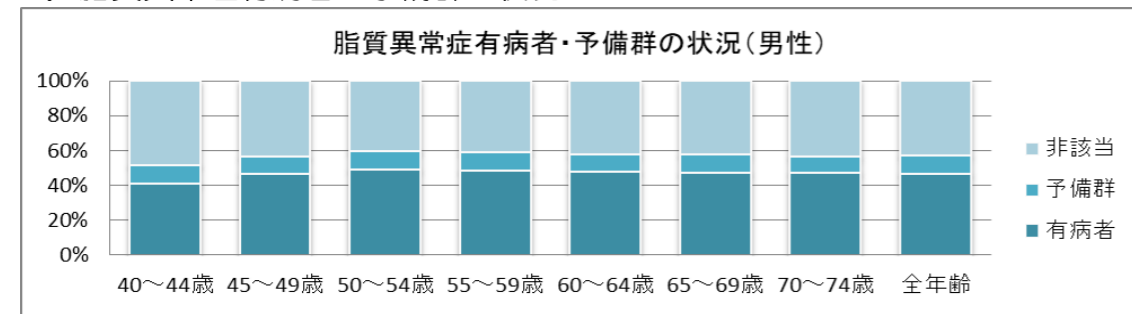
3. 高血圧症有病者・予備群の状況



4. 糖尿病有病者・予備群の状況



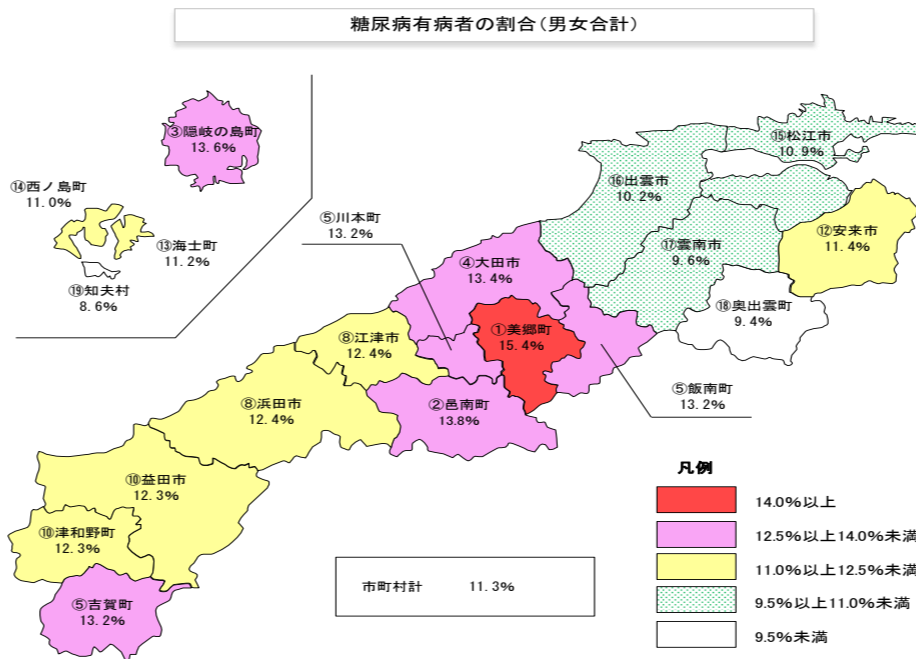
5. 脂質異常症有病者・予備群の状況



男女とも、加齢とともに有病者の割合は増加しています。

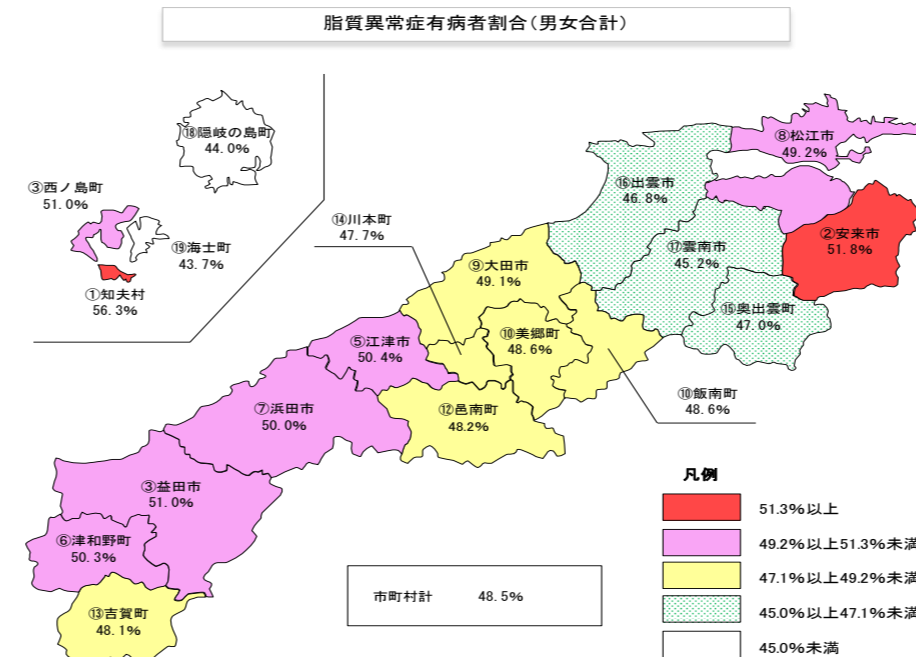
若年層の男性の割合が女性と比べて高い状況です。

市町村別有病者の割合が最も高いのは**津和野町**で、最も低いのは**雲南市**です。



男女とも、加齢とともに有病者・予備群の割合が増加しています。

有病者の割合が最も高い**美郷町**をはじめ、**県中央部**で高い傾向がみられます。



男性は年齢階層で大きな差は見られませんが、**女性**は加齢とともに増加しています。

有病者の割合が最も高いのは**知夫村**で、最も低いのは**海士町**です。